

明日をひらくとし
都市



YOKOHAMA 8

こう ほう
広報よこはま

2025

へいわ
平和な世界のために

ヨコハマから
できること



くわしいことは
2~3ページへ

へいわ
平和な世界のために

ヨコハマから

よこはま せんそう
横浜と戦争 ～戦争のあと80年をむかえて～

よこはまだいくうしゅう ぐん みなど まち りょう
横浜大空襲とアメリカ軍による港や街の利用

いま ねんまえ よこはま くうしゅう くうしゅう ご ぜんちゅう
今から80年前の1945年5月29日、横浜に大きな空襲がありました。空襲は午前中に
はじまり、軍の施設だけでなく、家やお店、学校などが次々と焼かれました。わずか1時間で
3,650人が亡くなり、1万人以上がけがをしました。家をなくした人は31万人以上だといわ
れています。戦争が終わると、横浜の港や街は連合国軍に使われるようになりました。

よこはま れんごうこくぐん つか まち なお た なお なが
横浜は、連合国軍に使われたため、すぐに街を直すことができず、人々は立て直すのに長い
じかん 時間がかかりました。私たちは、この歴史を忘れずに、平和の大切さを考えて、これから横
はま 浜を作りいかなければなりません。



▲空襲の後の横浜の様子

しょう い だん ひ うみ なか はし
焼夷弾※の火の海の中を走った

※焼夷弾(火を出して街を燃やす爆弾)



よこはまだいくうしゅう けいけん はな
横浜大空襲の経験を話す
瀬谷区在住の
藤原律子さん(94才)

1945年5月29日は学校に行く日でした。学校に着くとすぐ空襲警報が鳴りました。電車が止まり、家に帰れなくなり、私は浅間町の叔母の家に行きました。すぐに避難するようにすすめられ、近くの防空壕へ飛びこみました。防空壕の扉を閉めると同時に、B-29の編隊が空いっぱいに広がっているのが見えました。すぐに飛行機の大きな音、焼夷弾の落ちる大雨のような音が聞こえ、しばらくして扉を開けると、あたり一面が火の海でした。

火から逃げる時、前を走っていた男の子の右足に焼夷弾があたり、目の前で膝から下が失われるを見ました。私は、避難することで精一杯だったため、少年を助けられませんでした。その時のことが今でも強い痛みとなって心に残り、しばらくのあいだ、戦争の体験を誰にも話せませんでした。

しかし、戦争を知っている世代も少なくなり、私の体験したことを話すことで、子どもたちが平和について考えるきっかけをつくりたいと思いました。今でも世界では戦争が続いている。戦争によって得られるものは何もありません。

だからこそ、次の世代へ平和を受け継いでいきたいと強く願っています。

よこはま ぎ じゅつ こころ こくさいきょうりょく
横浜から世界へ、技術と心でつなぐ国際協力

すいどう ぎ じゅつ みらい
水道技術で世界とつながり、ともに未来をつくる

よこはまし いじょう
横浜市は50年以上にわたり、アジアやアフリカなどの開発途上国(生活や仕事の環境がよくなっている途中の国)で、その国の専門の人への研修、水道施設を良くすることなど、安全な水を届けるためのやり方を支援しています。

ベトナムのフエ市では水道水を直接飲めるようになりました。アフリカのマラウイ共和国では水が漏れることがへりました。生活が良くなることを助けています。



し みん すす し えん
市民とともに進めるウクライナ支援

よこはまし とし さき みんかん かいしゃ こくさいきょうりょく きこう きょうりょく
横浜市では、ほかの都市より先に、民間の会社や国際協力機構(JICA)と協力して、ロシアの侵攻から4か月後に持ち運びできる水をきれいにする機械の設置を支援しました。およそ10万人分の飲む水を用意するのに役に立ちました。また、民間の会社や市民のみなさんの協力で、およそ2,400万円を寄付しました。

さらに、国連開発計画(UNDP)と協力し、爆撃の被害を受けたオデーサ市の保育園の復旧支援も進めています。2025年の夏には部分的に始める予定です。保育園の庭に子どもが遊ぶ道具を置くなど、クラウドファンディング(みんなからインターネットでお金を集める)をする予定です。



▲被害を受けたオデーサ市の保育園

QRコード
ウクライナ支援について
こちら

できること

とど 世界へ届け! 4万人の子どもの声

横浜市では、未来を担う子どもたちが「国際的な視野」と「平和への意識」をそだてられるように、1986年から「よこはま子ども国際平和プログラム」を行っています。プログラムの中心は「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」。市内の小・中学校や特別支援学校からおよそ4万人の子どもたちが参加しています。「国際平和のために自分にできること」をテーマに、自分の思いを言葉にして発信します。



くわしいことは
こちら



2024年に参加した子どもたちの声

世界平和のためにには、お互
いの『違い』を尊重すること
が大切。言葉や文化、考え方
が違う人々の“懸け橋”になり
たい。



林 睿騰さん
3年(当時)
潮田中学校

平和は戦争がない
ことだけではない。
差別をなくし、すべての人が幸せに暮らせる世界をつくりたい。



志村 優妃さん
6年(当時)
市場小学校



▲スピーチコンテスト参加者のグループワークの様子

イベント開催

芝生の上のブックカフェと サマーナイトシネマ

市役所アトリウムが平和を考える場所へ。

[日時] 8月11日(月曜・祝日) **[会場]** 市役所アトリウム

主催: 横浜市



昼の部(14時~17時)

芝生の上で親子でくつろぎながら、平和に関係した絵本の読み聞かせなどを行います。



夜の部(17時30分~20時30分)

『シチリアを征服したクマ王の物語』という映画を流します(上映開始19時~)。

あらすじ…クマが人間たちに立ち向かう冒険で、違う文化との共存の難しさと大切さを伝える物語



©2019 PRIMA LINEA PRODUCTIONS - PATH FILMS - FRANCE 3 CINEMA - INDIGO FILM

昔のアメリカ軍の施設を市民の未来を育てる場所に

横浜市では太平洋戦争が終ったあと、日本軍の建物の多くがアメリカ軍に使われるようになり、通信施設や燃料貯蔵施設、アメリカ軍の人の家などとして使われてきました。これらの施設は、長いあいだ、街の発展に影響をあたえてきました。最近、アメリカ軍から日本に返され、市民のために使うことが進められています。



▲市内最大級の新しい桜の名所づくりを推進(上瀬谷地区)



金沢区の小柴貯油施設は2005年に返され、「小柴自然公園」として整備中です。市民の意見を取り入れた公園づくりを行い、2023年にはインクルーシブ遊具広場など、みんなが楽しむことができる場所が出来ました。

また、2015年に返された旧上瀬谷通信施設は、その一部が「GREEN×EXPO 2027」の行われる場所として、「新しいグリーン社会」を発信する場となります。その後も、自然環境や生きものの暮らしのしくみを生かした公園を作り、広域防災拠点として交通を便利にして、横浜市西部が元気になる新しいまちづくりを進めます。

地球に良いと、私もちょうど良い気分♪



「YOKOHAMA GO GREEN」を合言葉に、未来と地球にやさしい選択を!



横浜市脱炭素ポータルサイト

横浜のシェアサイクルが便利に!

全国初! 共同ポート化スタート!

快適で地球にやさしい移動を

市内に900か所以上あるポートで、電動アシスト自転車を簡単に借りられる「シェアサイクル」。

行き先の近くのポートに返すことができるので、買い物やお出かけなど、移動にとても便利です。

6月より、7区*で「baybike」と「HELLO CYCLING」のどちらも利用できる共同ポートがスタートし、使いやすくなりました。共同ポートは、いま市内に100か所以上あり、**2025年度中には、18区へと広がる予定**です。

*磯子区、神奈川区、鶴見区、中区、西区、保土ヶ谷区、南区

事業者 ※利用する料金は変わることがあります。

株式会社ドコモ・バイクシェア (baybike)

[1回利用] 利用開始30分:165円
[月額会員] 3,300円/月
(1回利用・月額会員ともに延長30分ごと:165円)

OpenStreet株式会社 (HELLO CYCLING)

[1回利用] 利用開始30分:160円
延長15分ごと:160円 上限:2,500円/12時間



くわしいことは
こちら

▲共同ポート(イメージ)

利用する方法

STEP
1

アプリをダウンロード・会員登録
利用には会員登録が必要です。



STEP
2

ポートで借りる(鍵を開ける・利用)
スマホで鍵を開けて、利用できます。アプリで予約もできます。

STEP
3

ポートへ返す
好きなポートに返します。鍵を閉めて、返却ボタンを押すだけです。

エコな暮らしでポイントがもらえます

7月31日(木)スタート

横浜グリーンエネルギー・パートナーシップ事業(YGrEP)



家などに太陽光パネルや環境にやさしいエネルギー設備などを取り付けた人に、キャッシュレスポイントをもどします。(1ポイント1円相当がもらえます。)
へったCO₂は、市内のイベントなどで出るCO₂と差し引きすることで、環境への負担を軽くします。

もうしこみ期間

7月31日(木)～12月22日(月)

※予算がいっぱいになったときは終ります。

参加する方法

①オンライン(または郵送)でもうしこみ

②対象の設備を市内の家に取り付ける

③取り付け終了のもうしこみ

④キャッシュレスポイント(または商品券)をもらう

⑤モニタリングデータの提供(年1回ぐらい)

①のもうしこみ前に取り付けた設備はポイントになりません。

対象の設備と
還元額

A・Bについては、Aと、Bのうちのどちらか
一つ以上の設備が、合わせて設置された状態
になることが条件です。くわしいことはウェブ
ページで見てください。

対象の設備	還元額
A 太陽光発電設備	15,000円分/kW(上限4kW)
B おひさまエコキュート	20,000円分/戸
B 電気自動車	100,000円分/戸
C 蓄電池	150,000円分/戸
C 燃料電池(エネファーム)	30,000円分/戸
C V2H※充放電設備	100,000円分/戸

※電気自動車に蓄えられた電力を家庭用に有効活用する設備

きくところ 横浜グリーンエネルギー・パートナーシップ事業事務局(7月31日(木)からつながります) TEL: 050-5846-3614 FAX: 0570-069-664

他にも、毎日できる行動が!



マイバッグを使う



電気をこまめに消す



正しく分別してリサイクルする

きくところ 脱炭素ポータルサイトについて 脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素ライフスタイル推進課 TEL: 045-671-2661 FAX: 045-550-4838

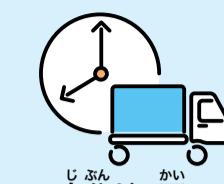
みなさんの協力が必要です

再配達をへらして、物を届けるしくみと環境を守ろう!

全国的にトラックドライバーが不足し、2030年度には輸送できる力がおよそ34%足りなくなるといわれています。再配達がふえると、ドライバーが足りなくなり、CO₂排出による環境への負担が大きくなる原因になります。ドライバーの負担を軽くするために、受け取る日や時間を決めたり、宅配ボックスの利用で、再配達をへらしましょう。みなさんの行動が、これからの物を届けるしくみと環境を守ります。

きくところ 経済局消費経済課 TEL: 045-671-2584 FAX: 045-664-9533

たと
例え



じぶん自分が1回で受け取れる日時・場所を決めよう



たくはい宅配ボックス・置き配を利用しよう



みなとみどりれきしちいき海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。今回は、横浜都市発展記念館(中区)からです。

戦争のあと80年 戦争の記憶 - 戦中・戦後を生きた横浜の人びと -

横浜都市発展記念館 主任調査研究員 西村 健

今は戦後80年の年です。昭和期の戦争は国家総力戦で行われました。そのため国内のすべての物や人、資源は戦争のために総動員されました。横浜市民の生活にも大きな影響がありました。たくさんの市民が兵士として戦場を行ったほか、第二次世界大戦末期には横浜への大きな空襲により、たくさんの市民が亡くなりました。けがをする悲しみがありました。また、戦後の横浜はたくさんの土地や建物が占領軍のものとなり、たくさんの占領軍兵士がいる基地の町となりました。

この状況のもとで、戦争で親をなくした子どもや、占領期に生まれたいろいろな事情を持つ子どもなど、罪のない子どもたちが、戦争の後も戦争の影響で、大変な人生を送りました。



▲「GIベビー」を保護した聖母愛児園(中区山手町)の子どもたち 昭和20年代 横浜都市発展記念館蔵 フチマの聖母少年の町卒園生寄贈

横浜都市発展記念館では、横浜市民の戦争中・戦争後の戦争被害に関する調査研究を続けてきました。この特別展では、空襲による被害や戦争が市民の生活に影響をあたえた資料や証言記録を紹介します。ほかにも戦争の後の占領期にも続いた戦争被害について、子どもたちが受けた影響について紹介します。戦争のあと80年になり、戦争を体験した世代が少なくなりました。その記憶を次の世代につなぐためにも、戦争が一般の市民にもたらす悲しみについて、考えるきっかけとなれば良いと

思います。
特別展「戦後80年 戦争の記憶 - 戦中・戦後を生きた横浜の人びと -」は、9月28日(日)まで開催しています。

よこはまとしほってんきねんかん
横浜都市発展記念館

にゅうじょうりょう
入場料がいります



きくところ 横浜都市発展記念館 TEL: 045-663-2424 FAX: 045-663-2453

国際会議TICAD 9がいよいよ開催

アフリカを感じてみよう!

8月20日(水)～22日(金)、第9回アフリカ開発会議(TICAD9)が行われます。7、8月を「アフリカ月間」として、食べもの・学びなどのアフリカに関するいろいろなイベントを市内で行っています。内容や期間など、くわしいことはウェブページを見てください。

食べる

期間限定アフリカメニューが登場!

- よこはま動物園ズーラシア サバンナテラス
- 象の鼻テラス内 象の鼻カフェ
- JICA横浜3階 ポートテラス



▲南アフリカの家庭料理「マフェ」(よこはま動物園ズーラシア提供)



知る・学ぶ

アフリカの今を知る

- 国際協力に関するパネル展(JICA横浜1階)
- アフリカの子どもたちの環境に関する絵日記の展示(JICA横浜2階)



▲アフリカプリントの製品

TICAD9が行われているあいだ、みなとみらい地区へのお出かけは、公共交通機関を利用してください。

「アフリカに一番近い都市・横浜」

【子どもたちとアフリカをつなぐ】

子どもたちが、各国の大使館やアフリカの生徒と言葉や文化の違いをこえて交流する機会をつくっています。

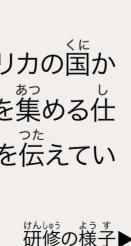
ケニア大使館による特別授業の様子▶



横浜市は、アフリカとの協力を進めています。

【国際的な技術協力】

廃棄物の分野では、アフリカの国から研修員を受け入れ、ごみを集める仕組みやごみ分別のとりくみを伝えています。



スポーツの力を横浜の力に

横浜市を中心に活躍する7競技13のトップスポーツチームと、スポーツを通じたまちづくりにとりくんでいます。

スポーツを楽しみながら、地域を元気に、笑顔にする活動をしていきます。



くわしいことは
こちら

トップアスリートが届ける 特別授業

選手やスタッフが、夢や目標に向かってがんばることの大切さや、スポーツの楽しさを伝え、子どもたちの未来を育てます。



▲横浜DeNAベイスターズの学校訪問授業

©YDB

スポーツがつなぐ 笑顔の輪

福祉施設への訪問やスポーツ教室で、体を動かすよろこびや楽しさをみんなで感じて、笑顔あふれる時間を過ごしています。



▲横浜FCの障害者向けスポーツ教室

市民招待

RUGBY 女子ラグビー ワールドカップ 2025 パブリックビューイング開催

8、9月にイングランドで行われる「女子ラグビーワールドカップ2025」のパブリックビューイングを開催します。当日はゲストによる見どころの説明もあり、ラグビー初心者も楽しめます。大きな画面で世界のトップレベルの戦いをいっしょに応援しませんか。

あなたの熱い応援を力に変えて、必ずベスト8へ進出します! おぞい時間ですが、ぜひ私たちといっしょに戦ってください!
応援よろしくおねがいします。



やまと ゆりせんしゃ
山本 実 選手
YOKOHAMA
TKM所属

日本代表
VS
アイルランド代表

日本代表
VS
スペイン代表

【もうしこめる人】
横浜市に住んでいる人・市内に
職場や学校がある人 200名
※もうしこみが多い場合は抽選となります

【日時】8月24日(日) 20時から(予定)
【会場】市役所アトリウム
【もうしこみ期限】8月15日(金)

【日時】9月7日(日) 20時から(予定)
【会場】戸塚公会堂 講堂
【もうしこみ期限】8月22日(金)



大会概要・
もうしこみはこちら

横浜F・マリノス ホームゲームに500組1,000名を招待

スタジアムのまわりには子どもが楽しめるアトラクションもあります。
迫力ある試合を観戦して、楽しい時間を過ごしませんか。



横浜 F・マリノス
VS
アビスパ福岡

【もうしこめる人】
横浜市に住んでいる人 500組1,000名
※もうしこみが多い場合は抽選となります

【日時】9月20日(土) ※キックオフ未定
【会場】日产スタジアム
【もうしこみ期限】9月2日(火)



もうしこみは
こちら

きくところ 横浜F・マリノス トリコロールメンバーズ事務局 TEL: 045-285-0677 MAIL: info@yokohama.marinos.co.jp

きくところ にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課 TEL: 045-671-4566 FAX: 045-664-0669